

## 「第1回ミニ相談会」のお知らせ

いわき地域復興センターが開所して、1ヶ月が経過いたしました。地域の皆様には、放射能測定等で当センターをご利用いただいております。これからも、地域の皆様に安心を提供できるよう、様々な活動を予定しております。

この度、いわき地域復興センターで、ミニ相談会を開催することとなりました。放射能のこと、毎日の食事や生活のこと、日ごろ疑問に思っていることや不安に感じていることなどありませんか？同じ悩みや不安をお持ちの方と、色々なお話をしませんか？皆様からのご質問には、いわき明星大学から講師を招いてお答えします。ぜひご参加ください。

【日時】 平成24年6月29日(金) 10:30～11:45

【場所】 いわき地域復興センター

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 74-8

アドレスいわき中央ビル1F

TEL 38-7132 FAX 38-7134

【内容】 1. 講師の先生のお話 10:30～11:00

2. 質問コーナー 11:00～11:20

(皆様からのご質問にお答えします)

3. 交流タイム 11:20～11:45

(講師の先生を交えて、自由にお話しましょう)

【参加費】 無料

【対象者】 いわき市内在住の方

【定員】 10名(定員になり次第締め切ります)

【第1回ミニ相談会テーマ】

「これって安全!？」

放射能測定結果からいわきの食の安全について知ろう」

講師:いわき明星大学 教授 佐藤 健二氏

～お申し込み方法～

いわき地域復興センター窓口か、お電話(38-7132)でお申し込み下さい。

\*定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

今後も、様々なテーマで相談会を実施する予定です。

いわき地域復興センターホームページでも、お知らせいたしますので、ぜひご覧下さい。

↳ URL:<http://revive-iwaki.net/>

# 第1回ミニ相談会 開催報告

【日時】 平成24年6月29日(金) 10:30~12:00  
 【場所】 いわき地域復興センター  
 【講師】 いわき明星大学科学技術学部 教授 佐藤健二氏  
 【参加人数】 9名(男性5名 女性4名)

いわき地域復興センターには、これまで230検体(7月3日現在)が地域の方から持ち込まれ、いわき明星大学環境放射線測定室で測定されました。  
 毎日測定結果をお伝えするわけですが、実際は測定結果をどう捉えてよいのか戸惑われている方、また生活の中で不安や疑問を抱えている方が、まだまだ多いと感じていました。  
 そこで、第1回のミニ相談会は

## 「これって安全!？」

### 放射能測定結果からいわきの食の安全について知ろう

というテーマで相談会を実施させていただきました。受付でご協力いただいていますアンケートの内容なども、ミニ相談会のテーマの参考にしております。

第1回は9名の方にご参加いただきました。少人数での相談会ということもあり、なごやかな雰囲気では進みました。先生と参加者の距離も近く、やりとりも活発になされていました。

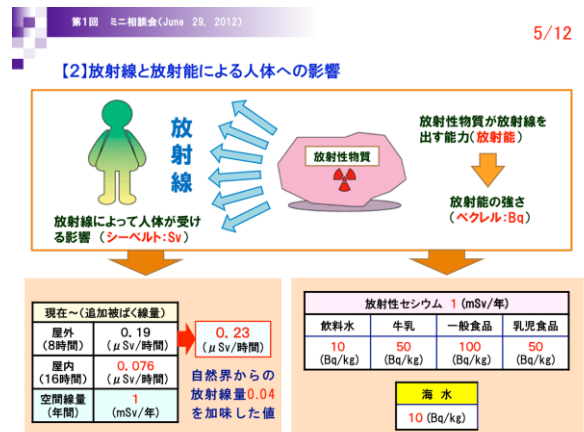
## 1. 講師の先生のお話

### (1) 化学物質による人体への影響

イタイイタイ病・水俣病など、過去に化学物質によって起こった病気を事例にあげながら、化学物質による健康への影響についてお話をして下さいました。

### (2) 放射線と放射能による人体への影響

放射能と放射線の違いや、ベクレルとシーベルトの単位の違いなどを、分かりやすく説明していただきました。



### (3) 食品中の放射能

放射能測定結果の捉え方や、「どうして1キロも用意するの?」「どうして細かく刻んで測定するの?」といった測定への疑問にも答えていただきました。また、いわき市の放射能測定結果から、現在分かっていることなどもお話しして下さいました。



講師:佐藤健二氏

## 2. 質問コーナー

当センターの相談会では、申し込みの際にあらかじめ参加される皆さんに質問・疑問をご記入いただいています。そして、相談会当日に参加者1人1人の質問に講師が答えるという時間を設けています。

第1回のミニ相談会で出た質問をご紹介します。

#### Q. ビール・酒などはどうして測定の受付をしてもらえないのか?

A. いわき市で測定に使用している機械では、ビールやお酒などの測定はできないので受け入れをしていません。

#### Q. 普段の生活で気を付けることはありますか?

A. 放射性物質は1人歩きはしません。ほこり・ゴミ・砂等と一緒に移動します。風の強い日は窓を閉める、布団を干したらほこりを落とすなど、普段の生活で行っていることをすれば十分だと思います。

#### Q. タケノコの放射能の吸収、竹林の除染、調理法などについて聞きたいのですが?

A. 大学職員が実験したところ、タケノコの上部と下部では放射能の数値が違って、下部のほうが低かったという結果が出ました。柔らかく成長する部分に放射性物質は集まっています。1度冷凍してから水にさらすという方法だと、数値はだいぶ下がりました。冷凍することで細胞が壊されて、水にさらすことで放射性物質が出ていったということが考えられます。

竹林でタケノコが食べられないからといって、そこに倒しておくだけでは放射性物質の量は減りません。できれば、タケノコを処分(別の場所に移して捨てる)ことで、土壌の放射能の数値が減っていくことは、十分考えられます。

#### Q. 果樹の除染の方法はありますか?

A. 実からセシウムが検出されたら、実は下に落とさず捨てるようにした方がよいです。

**Q. 木のどの部分からセシウムが吸収されるのですか？（根・幹・葉のどこ？）**

A. それはまだはっきりと分かっていません。原発の事故があつて、今いろいろと試している段階です。今できるのは、可能性のあるものを取り除いていくことです。そう考えると、枝を剪定するなど1つの方法だとは思いますが。

**Q. 毎年検査をした方が良いですか？**

A. すべての物を測定して安心するのであれば、そうして下さいといいたいところですが、現実には難しいですよ。現在までの測定結果では、いわき市内の家庭菜園ではほとんど不検出です。5000 ベクレル以上の土で作ったミニトマト・ゴーヤ・シソも不検出という結果が出ています。いわき市であったら、土だけはよく洗って落として食べれば大丈夫だと思います。



ミニ相談会のようす

**Q. レントゲン・飛行機で被ばくすると聞きますが、どうなのでしょう？**

A. レントゲン（胸部）1回0.05ミリシーベルト　レントゲン（胃）1回0.6ミリシーベルト  
PET 検診　1回3.5ミリシーベルトとなっています。胸部レントゲンを4回受けると、0.2ミリシーベルトとなり、これは1年間の食事から受ける被ばく量とほぼ同じです。このことをどう考えていくかですね。

**Q. セシウムは傷から吸収されますか？**

A. 放射性物質は、砂やホコリについて移動しますので、それが傷口につけば吸収される可能性はあります。しかし、水で洗って絆創膏などで覆えば大丈夫です。皮膚というのは、体の他の臓器と比べると、放射能の影響を非常に受けにくいとされています。

### 3. 交流タイム

最後は、交流タイムでした。講師の先生を中心に参加されたみなさんが普段感じていることや、生活の中で気になっていることなどを、自由に話し合いました。

その中で出た疑問・質問をご紹介します。

**Q. お米の水分が16%以下だと、放射線はすべて通過すると聞いたけど本当？**

A. すべてを遮へい（遮る）できるかということ、それはできません。

**Q. セシウムを減らす方法ってあるんですか？**

A. 専門用語で、「物質保存の法則」というものがあります。セシウムに何か混ぜたりして無くすということはできません。何かに移して移動するという事は可能です。

**Q. ゼオライトをまくといいと言って、知り合いがやっているのですが効果ありますか？**

A. ゼオライトにセシウムが移行することはあっても、なくなることはありません。ゼオライトをまけば、作物にセシウムが移行しないかは分かりません。ゼオライトにも色々な種類があり、吸収しやすいものとそうでないものがあるのではないのでしょうか。

**Q. 皮や葉でくるんで香りを楽しむ料理がありますが、食べなくても放射性物質は体に吸収されますか？**

A. 皮や葉の表面に放射性物質が付着していれば、体内に取り込まれる可能性もありますが、その量はごくわずかだと考えられます。

以上

～参加されたみなさま、お疲れ様でした～

第2回ミニ相談会は7月27日（金）10：30～実施します！！

興味を持たれた方は、窓口かお電話でお問い合わせください。